



リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

- 1 職員の問題のある行動について
 - (1) 懲戒処分の件数について
 - (2) 交通安全意識について
- 2 税金未納対策について
 - (1) 取り組みについて
 - (2) インターネット公売について
- 3 神戸公園について
 - (1)・(2) 神戸城跡の整備・活用について

質問1(1) 22、23年度の懲戒処分件数はどうか。

答弁1(1) 22年度は市費職員が2件、県費職員は1件、23年度は現在まで県費職員の2件である。

質問1(2) 何度も繰り返し事故をする職員へ対応は。

答弁1(2) 再度自身の運転について反省をする機会

を設ける為の事故惹起者研修を実施している。

質問2(1) 電子決済サービス(ペイジー)の導入は、また滞納整理を臨時職員が行う事は不適切では。

答弁2(1) 費用対効果を総合的に考慮し研究したい。緊急雇用の臨時職員も守秘義務があり問題ない。

質問2(2) 滞納者に対しなれ合い捜査をしていないか、また差し押さえ物件は鑑定しているのか。

答弁2(2) 滞納者等への心理的影響を考え協議している。差し押さえ物件については、市で調査をし、滞納者と相談等をしながら価格を決定している。

質問3(1) 文化財の管理を文化課はしているのか。

答弁3(1) 市街地整備課と連携し管理をしていく。

質問3(2) 神戸城跡の観光資源にできないのか。

答弁3(2) 観光施設としてPR・商品化に努めたい。



あくていぶ21 森 喜代造 議員

- 1 福祉避難所について
 - (1) 現状について
 - (2) 今後について
- 2 不審者について
 - (1) 本市の現状について
- 3 防犯対策について
 - (1) 安全パトロール隊について

質問1(1) 福祉避難所の受入れ施設と体制について。

答弁1(1) 一次避難所での生活が困難な高齢者や障がいの方が避難する施設として、老人福祉施設や障害施設等の短期入所定員枠の範囲内において避難者の受入れをしていただく協定を締結している。

質問1(2) どんな形で福祉避難所の充実を図るのか。

答弁1(2) 支援活動の経験で検討会を開き、各団体にフィードバックしていただくことで連携を図りたい。

質問2(1) 発生件数と時間場所、不審者の特徴及び連絡システムの体制と再発防止について。

答弁2(1) 146件で昨年度より46件増加し、下校時間帯は80件で全体の54.8%を占めている。また、不審者発生場所を地図で示し関係機関に配布した。不審者情報は各学校から教育委員会事務局に報告され、近隣校に注意喚起を指示し、青ノボで巡回を行う。また、防犯教室も実施して学校や地域の実態に応じた安全安心対策の改善に努めていく。

質問3(1) ボランティアの活動状況と今後について。

答弁3(1) 約4200名が地域の防犯活動に尽力し、安全安心で元気なまちづくりを推進していきたい。



あくていぶ21 宮木 健 議員

- 1 スマートインターについて
- 2 減災と防災について

質問1 平成30年度に開通が予定されている新名神高速道路に付随した(仮称)鈴鹿パーキングエリアに設置される、スマートインターの活用をどのように考えているのか。積極的に地域の意見を取り込んでほしい。



新名神スマートインター予定地

答弁1 重要な事業として認識している。地域の活性

化はもとより、災害時の緊急輸送路の確保としても重要な施設である。連結許可申請がおりれば、地域の皆さんや関係機関と協議、調整しながら取り組んでいく。

質問2 教育施設、保育施設等子どもたちの登下校時の災害対策について、特に地域との連携についてを問う。地域との連携、特に小学校は避難所となっているので、地元の方々とよく相談し、早急に役割など詳細を詰め、他地域の子どもは地域で守るよう日頃から訓練等しっかり連携してはどうか。

答弁2 各施設ごとにマニュアルはあるが、地域については明確になっていない。また市全体としてもまだまだ把握していない。